

## カラスの子作りに注意!!

となみ野営業所 保安課 田中 茂晶

4月の初旬、担当お客さまへ月次点検にお伺いしました。「最近、電気設備で変わったことはありませんでしたか?」とお聞きしたところ、「特に思いあたることはない」とのこと。

早速点検順路に沿って駐車場の端に施設された構内第一柱の外観点検に向かいました。

構内第一柱<sup>\*</sup>に到着して見上げたところ、電柱の腕金の上にカラスの巣が作りかけの状態になっているではありませんか。「うわーやられた!」と思い付近を見わたすと、近くの電線に



とまったカラスがこちらを見つめて居る(?)のが見えました。「この時期はカラスが子作りに励む時期、このままだとすぐに巣は完成してしまい、停電事故が発生するリスクは高い」と思い、連絡責任者さまに説明すると、「全然気づかなかった」との事でした。

<sup>\*</sup>構内第一柱とは、電力会社とお客さまとの電気の責任分界点に施設されており6,600Vという高電圧の電気をお客さま構内に引き込むためにある設備で、(計量機器以外は)お客さまの財産です。

過去のカラスの営巣による事故では、①カラスの巣により、雨に濡れた枝が電線や高圧機器の充電部に覆いかぶさって事故の原因となる。②金属ハンガーなど導電性の高いものをカラスの営巣で使われると漏電やショートにより区分開閉器が開放され、工場が全停電になる恐れが出てきます。③最悪のケースでは付近一帯の電気を止めてしまう波及事故の可能性もあり、また今回巣を撤去しても再度営巣する事も考えられることから鳥害防止器(風車式・有償)の設置をお勧めしました。

お客さまに事情を説明すると、事の重大さをご理解いただき、翌日早朝に営巣を撤去することとなり、鳥害防止器設置もご用意いただきました。

営巣撤去後、再度営巣していないか確認するためお客さまへお伺いすると、営巣はありませんでしたが、上空をカラスが飛んでいました。昨日、カラスの攻撃に注意しながら巣を撤去し鳥害防止器を設置したことから、お客さまからは感謝のお言葉を頂きました。今回の件では、営巣の初期段階にタイミングよく点検にお伺いして発見・早期撤去を行えたことで停電事故のリスクをなくすことが出来ました。

営巣の盛んなこの時期、お客さまも事業所内の構内柱に注意していただき、営巣の気配があれば当協会の担当者までご連絡ください。

当協会は高所作業車を所有しており、迅速な対応をさせていただきます。

